会議結果のお知らせ

令和6年度第2回宮古市地域公共交通会議を次のとおり開催しました。

令和6年10月25日

宮古市地域公共交通会議

- 1 開催日時
令和6年10月16日（水） 午前10時30分～午前11時30分
- 2 開催場所
市民交流センター1階 会議室1・2
- 3 議題
 - (1) 協議事項
ア 岩手県央部と沿岸部における独占禁止法特例法の適用について
 - (2) 報告事項について
ア 共創Massに係る電気バスの導入について
イ 中学生フリー定期券交付実証事業の実施について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
企画部公共交通推進課公共交通推進係 電話0193-68-9134

令和6年度第2回宮古市地域公共交通会議

1 出席者（22名）

多田康、佐々木隆文、田頭勇人、三浦芳範、松野文一、田鎖伸茂、久保田容子、久保田香奈枝、中坪政男、長鈴秀夫、高橋智、竹林孝也、佐々木亜津子、中村三樹彦、藤田茂、小野寺哲、去石一良、大村学、金丸剛、小野寺利幸、荒屋敷正剛、野崎雄太

2 欠席者（2名）

鈴木一成、村上早紀子

3 事務局出席者（2名）

企画部公共交通推進課公共交通推進係長 根市昇、同課主事 山崎千穂

4 傍聴者

あり（1名）

5 議事等

(1) 協議事項

- ア 岩手県央部と沿岸部における独占禁止法特例法の適用について
東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社より岩手県央部と沿岸部における独占禁止法特例法の適用の概要を説明。
委員より意見を聴取した。
質疑等は別紙のとおり。

(2) 報告事項について

- ア 共創 Mass に係る電気バスの導入について
事務局より共創 Mass に係る電気バスの導入の概要を説明。
質疑は別紙のとおり。
- イ 中学生フリー定期券交付実証事業の実施について
事務局より中学生フリー定期券交付実証事業の実施状況を説明。
質疑は別紙のとおり。

質疑応答内容

質問・意見	回答
<p>【議題(1) 協議事項「ア 岩手県中部と沿岸部における独占禁止法特例法の適用について」】</p> <p>(委員) 対象駅となっている松草バス停は駅から離れている。近くに黒沢バス停があるが黒沢バス停を対象駅に含めることはできないか。</p> <p>(会長) 集落的には松草バス停と黒沢バスのいずれの利便性が高いか。</p> <p>(会長) 今後状況を見ながら検討していくこととしていただきたい。</p> <p>(委員) 資料1-1裏面2025年度以降の施策概要(案)において、J R東日本の乗車券類で106特急・急行バスの利用が可能とならない特別企画乗車券があるが、具体的なものはなにか。</p> <p>(委員) 外国人向けフリー切符のJAPAN RAIL PASSやJR EAST PASSも対象外か。</p> <p>(委員) ① 106特急・急行バスの乗車券でJR山田線に誤って乗車する者が出てくるのではないか。バス乗車券で山田線を利用することはできないのか。 ②来年度以降、現在から変化する部分はあるか。</p>	<p>(東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社) 山田線の駅を106急行・特急バスの停留所に読み替えており、令和7年4月は現行のとおりに実施する。なお、実施期間が5年間のため、実施していく中で検討していきたい。</p> <p>(委員) 黒沢バス停の利便性が高い。</p> <p>(東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社) ・スマートフォンで事前に購入ができるえきねっとQチケ ・大人の休日倶楽部パスや青春18きっぷ、いわてホリデーパスの3種類のフリーパスタイプ</p> <p>(東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社) 対象外である。</p> <p>(東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社) ①懸念事項の一つであるため、現在社内調整中である。 ②県北バスと、山田線とバスのダイヤ調整を実施することが可能となる。</p>

(会長)

フリーパスタイプを対象とするところで、大人の休日倶楽部パスや青春18きっぷ利用者、みちのく潮風トレイルの影響による外国人の利便性が向上すると考えるが、なぜ対象とできないか。

(会長)

宮古市として、

①事業者に工夫をいただき、観光需要にも対応をいただいている。利便性がよくなることは歓迎することであり、市としても利用促進に取り組む。

②市も乗降調査をする矢先であったが、大雨被害による山田線の運休により調査が休止している。今後乗降調査は取り組む予定であり、ニーズを明らかにしていきたい。

③共同経営によりダイヤ調整が実施可能になることが市のメリットとして示された。共同経営によるメリットや制度について、市民に対し目に見える形で示していきたい。

④市民に対し山田線が減便するのではないかと不安を喚起させないように周知願いたい。市も周知を実施する。

(委員)

- ・バスと鉄道のサービスが将来に渡り継続していけばよい。首都圏から沿岸への移動手段として、鉄道は根強いニーズがある。
- ・三陸鉄道に接続していることから、三陸鉄道の経営も配慮した計画としてください。

(東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社)

大人の休日倶楽部パス期間は山田線が混雑しており、106特急・急行の振替を可能とした場合、バスの供給が間に合わない。青春18きっぷの利用が増加する夏休み期間を対象とできるか検討したい。

(岩手県北自動車株式会社)

貸切バスの運行も行っており、続行便の運転手の手配に苦慮する。

貸切バスの需要が落ち着いている時期など対応可能か今後検討していきたい。

(岩手県北自動車株式会社)

実証実験において、盛岡－宮古間の切符や定期券での利用も多いが、発着地が仙台や首都圏のお客様がかなり多い。当初の想定以上に首都圏からのニーズがある。

<p>(会長) ホームページ以外で実証実験を周知しているのか。</p> <p>(三陸鉄道株式会社) 大雨被害により新田老駅－宮古駅間が運休しており、県北バスに協力いただきバス対応としている。 大人の休日倶楽部パス利用者が多く、バス2台で対応ができず、1台追加をお願いしたこともあり、運休区間の輸送に苦慮している部分がある。 大人の休日倶楽部パスは振替切符対応とし、社員を3～4名増員して対応している。今後も引き続き対応したい。</p> <p>【議題(2)報告事項ア「共創M a s sに係る電気バスの導入について」】 (岩手県北自動車株式会社) 皆様からご意見を頂戴し、事業を進めていきたい。</p> <p>(委員) 充電にどのくらい時間を要するか。</p> <p>(会長) 導入するバスは低床タイプか。 将来的に全てのバスを電気バスとするのか。</p> <p>(委員) 国産の電気バスはあるのか。</p>	<p>(東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社) 全国版の時刻表に掲載。 (岩手県北自動車株式会社) SNSに掲載。</p> <p>(岩手県北自動車株式会社) 中国産のBYDで小さめの車両を導入する。仕様上は、1回の充電で200km走行する。 ランニングコストが安くなるよう、充電の時間帯も検証していく。</p> <p>(岩手県北自動車株式会社) 低床タイプの30人乗りのマイクロバス。 国庫補助を活用し、将来的に全てのバスを電気バスとしたい。</p> <p>(岩手県北自動車株式会社) 国産の電気バスも開発されているが、車両の大きさや納入時期を鑑みBYDを選択した。</p>
---	--

【議題(3) 報告事項イ「中学生フリー定期券
交付実証事業について」】

(岩手県北自動車株式会社)

想定より効果があった。

これまで利用していなかった生徒の利用があり、放課後の部活動において行きは路線バスを利用し、帰りを保護者が送迎する事例もあった。

本事業を通じ、高校通学に安心感を与えられたのではないかと。

(三陸鉄道株式会社)

これまで三陸鉄道は中学生の利用がすくなかった。

本事業を通じ、高校進学に向けた環境作りができたのではないかと。